第9号様式 その1　　（表）

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）	株式会社 共立メンテナンス 代表取締役 中村 幸治
事業者番号	A 1 0 4 1

2 報告する事業所等の全体の状況（2023年度の状況）

条例第8条の23第1項報告事業所数	15	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	3,655	kl
条例第8条の23第2項報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	7,124	t

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	□	義務提出事業所等	■	全事業所

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
合計二酸化炭素排出量	5,585.00	4,885.00	6,122.00	6,651.00	7,124.00	t
合計延床面積	46,273.79	51,980.99	54,692.15	54,692.15	60,036.15	m^2
合計原単位	120.69467	93.97666	111.93562	121.60794	118.66183	$kg\text{-}CO_2/m^2$

平均合計二酸化炭素排出量削減率	-6.27	%
平均合計原単位改善率	0.42	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	——	ランク

（日本産業規格A列4番）

8　実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

9　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他	特記事項に内容を記載	

10　地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1

11　事業者としての取組

取組方針	棟数、室数、利用者数増加といった環境の下ですが、新規事業所への積極的な高効率機器の導入、既存事業所への必要に応じた設備改修および入替工事などの対策を継続して取り組む方針です。 また、各事業場での運用面においては、空調設定温度26℃の徹底や不要部分のこまめな消灯、お客様チェックアウト後の空調停止といった継続した省エネルギー対策に取り組む方針です。

組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A106	本社等による支店の支援
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A108	組織横断的な推進体制の整備

12　特記事項

運営しているホテルの一部の部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	株式会社 共立メンテナンス 本社ビル
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 8 6 2 1　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　外神田2-18-8
事業所等の延床面積	3,949.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 0 0　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 175	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 340	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 342	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 86.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ）（⑧=(⑥/1000)×⑦）	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t）⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	503,373.0	9.97	5,018.6	0.4890	246.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	193,233.0	9.28	1,793.2	0.4890	94.5
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,811.8		⑮ 340.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,859.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,859.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E132	エアカーテンの設置
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーインEXPRESS目黒青葉台
事業所番号	A 1 0 4 1 ― 0 0 0 3
事業所等の所在地	〒 1 5 3 ― 0 0 4 2　区市町村名　東京都目黒区 町名番地以下　青葉台3-21-8
事業所等の延床面積	1,977.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 104	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 203	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 209	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 102.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	14,587.8	45.00	656.5	0.0136	32.7
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	188,020.0	9.97	1,874.6	0.4890	91.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	132,887.0	9.28	1,233.2	0.4890	65.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	29,281.0	9.76	285.8	0.4890	14.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,050.0		⑮ 204.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,044.0			0.2660	2.4
	公共下水道		□	m^3	9,044.0			0.4000	3.6
合　計									⑯ 6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C417	不使用室の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C418	客室清掃時の空調停止
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品 （歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーインEXPRESS浅草
事業所番号	A 1 0 4 1 ― 0 0 0 4
事業所等の所在地	〒 1 1 1 ― 0 0 3 3　区市町村名　東京都台東区 町名番地以下　花川戸1-3-4
事業所等の延床面積	2,036.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 139	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 272	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 9	t
	総　計（④=②+③）	④ 281	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 133.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	32,438.0	45.00	1,459.7	0.0136	72.8
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	221,661.0	9.97	2,210.0	0.4890	108.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	158,469.0	9.28	1,470.6	0.4890	77.5
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	28,630.0	9.76	279.4	0.4890	14.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,419.7		⑮ 272.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,575.0			0.2660	3.9
	公共下水道		□	m^3	14,575.0			0.4000	5.8
合　計									⑯ 9.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C127	看板照明点灯時間の季節別管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C417	不使用室の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C418	客室清掃時の空調停止
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 □ 有 ■ 無

目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品 （歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーイン東京八丁堀
事業所番号	A 1 0 4 1 ― 0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 0 4 ― 0 0 3 3　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　新川2-20-4
事業所等の延床面積	3,530.36 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 268	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 523	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 21	t
	総　計（④=②+③）	④ 544	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 148.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	79,780.9	45.00	3,590.1	0.0136	179.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	406,409.0	9.97	4,051.9	0.4890	198.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	299,027.0	9.28	2,775.0	0.4890	146.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,417.0		⑮ 524.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	22,515.0			0.2660	6.0
	公共下水道		□	m^3	38,638.0			0.4000	15.5
合　計									⑯ 21.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C127	看板照明点灯時間の季節別管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C417	不使用室の空調停止
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C418	客室清掃時の空調停止
				C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーイン秋葉原
事業所番号	A 1 0 4 1 ― 0 0 0 6
事業所等の所在地	〒 1 0 1 ― 0 0 2 1　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　外神田4-12-5
事業所等の延床面積	2,313.18 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 228	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 444	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 13	t
	総　計（④=②+③）	④ 457	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 191.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	62,089.2	45.00	2,794.0	0.0136	139.3
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	365,531.0	9.97	3,644.3	0.4890	178.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	258,811.0	9.28	2,401.8	0.4890	126.6
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,840.1		⑮ 444.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	19,798.0			0.2660	5.3
	公共下水道		□	m^3	19,798.0			0.4000	7.9
合　計									⑯ 13.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品 （歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	リフレフォーラム
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 0 7
事業所等の所在地	〒 1 3 6 － 0 0 7 2　区市町村名 東京都江東区 町名番地以下 大島7-37-11
事業所等の延床面積	4,570.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 9 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 141	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 275	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 282	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 60.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	35,686.0	45.00	1,605.9	0.0136	80.1
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	234,563.0	9.97	2,338.6	0.4890	114.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	166,016.0	9.28	1,540.6	0.4890	81.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,485.1		⑮ 276.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,161.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	11,161.0			0.4000	4.5
合　計									⑯ 7.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C409	季節に応じた温度設定の見直し		
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーインPREMIUM渋谷神宮前
事業所番号	A 1 0 4 1 ― 0 0 0 8
事業所等の所在地	〒 1 5 0 ― 0 0 0 1　区市町村名 東京都渋谷区 町名番地以下 神宮前6-24-4
事業所等の延床面積	4,281.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 476	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 16	t
	総　計（④=②+③）	④ 492	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 111.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	54,113.3	45.00	2,435.1	0.0136	121.4
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	431,162.0	9.97	4,298.7	0.4890	210.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	295,458.0	9.28	2,741.9	0.4890	144.5
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,475.6		⑮ 476.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	24,547.0			0.2660	6.5
	公共下水道		□	m^3	24,547.0			0.4000	9.8
合　計									⑯ 16.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーイン上野・御徒町
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 0 5　区市町村名　東京都台東区 町名番地以下　上野6-7-22
事業所等の延床面積	2,568.62 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 227	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 442	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 21	t
	総　計（④=②+③）	④ 463	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 172.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	72,116.3	45.00	3,245.2	0.0136	161.8
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	339,438.0	9.97	3,384.2	0.4890	166.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	234,825.0	9.28	2,179.2	0.4890	114.8
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,808.6		⑮ 442.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	32,463.0			0.2660	8.6
	公共下水道		□	m^3	32,463.0			0.4000	13.0
合　計									⑯ 21.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品 （歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーインPREMIUM東京小伝馬町
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 0 1　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　日本橋小伝馬町2-3
事業所等の延床面積	4,061.47 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 253	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 494	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 17	t
	総　計（④=②+③）	④ 511	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 121.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	63,132.2	45.00	2,840.9	0.0136	141.7
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	397,298.0	9.97	3,961.1	0.4890	194.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	275,147.0	9.28	2,553.4	0.4890	134.5
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	48,174.0	9.76	470.2	0.4890	23.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,825.6		⑮ 494.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	26,978.0			0.2660	7.2
	公共下水道		□	m^3	26,978.0			0.4000	10.8
合　計									⑯ 18.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーインPREMIUM神田
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 2
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 4 1　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田須田町1-16
事業所等の延床面積	4,173.98 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 321	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 626	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 18	t
	総　計（④=②+③）	④ 644	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 149.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	72,732.1	45.00	3,272.9	0.0136	163.2
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	478,988.0	9.97	4,775.5	0.4890	234.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	339,908.0	9.28	3,154.3	0.4890	166.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	127,735.0	9.76	1,246.7	0.4890	62.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,449.5		⑮ 626.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	27,784.0			0.2660	7.4
	公共下水道		□	m^3	27,784.0			0.4000	11.1
合　計									⑯ 18.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーイン後楽園
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 1 3 － 0 0 3 3　区市町村名　東京都文京区 町名番地以下　本郷4-23-14
事業所等の延床面積	5,926.75 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 395	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 766	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 19	t
	総　計（④=②+③）	④ 785	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 129.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	78,458.5	45.00	3,530.6	0.0136	176.1
	その他（LPG）	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	1,207,041.5	9.76	11,780.7	0.4890	590.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 15,311.4		⑮ 766.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	29,589.1			0.2660	7.9
	公共下水道	□	m^3	29,589.1			0.4000	11.8
合　計								⑯ 19.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	御宿野乃　浅草
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 5
事業所等の所在地	〒 1 1 1 － 0 0 3 2　区市町村名　東京都台東区 町名番地以下　浅草2-7-20
事業所等の延床面積	4,639.62 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 367	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 716	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 32	t
	総　計（④=②+③）	④ 748	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 154.3	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	118,793.2	45.00	5,345.7	0.0136	266.6
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	542,531.0	9.97	5,409.0	0.4890	265.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	376,757.0	9.28	3,496.3	0.4890	184.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,251.0		⑮ 716.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	33,356.0			0.2660	8.9
	公共下水道		□	m^3	58,449.0			0.4000	23.4
合　計									⑯ 32.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーイン池袋
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 7 0 － 0 0 1 3　区市町村名　東京都豊島区 町名番地以下　東池袋3-11-11
事業所等の延床面積	5,707.20 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 374	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 730	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 27	t
	総　計（④=②+③）	④ 757	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 127.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	113,583.9	45.00	5,111.3	0.0136	254.9
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	566,939.0	9.97	5,652.4	0.4890	277.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	405,831.0	9.28	3,766.1	0.4890	198.5
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,529.8		⑮ 730.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	41,135.0			0.2660	10.9
	公共下水道		□	m^3	41,855.0			0.4000	16.7
合　計									⑮ 27.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C417	不使用室の空調停止
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
お部屋置きするアメニティ類の一部をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ドーミーインPREMIUM銀座
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 6 1　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　銀座6丁目16番8号
事業所等の延床面積	4,956.11 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	2022年1月からコロナ療養者受入施設として運営し、2023年3月にグランドオープンしたため、エネルギー使用量は前年度比増となっております。

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 341	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 665	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 24	t
	総　計（④=②+③）	④ 689	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 134.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	76,100.9	45.00	3,424.5	0.0136	170.8
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	594,039.0	9.97	5,922.6	0.4890	290.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	417,906.0	9.28	3,878.2	0.4890	204.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,225.3		⑮ 665.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	35,741.0			0.2660	9.5
	公共下水道		□	m^3	36,478.0			0.4000	14.6
合　計									⑯ 24.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C417	不使用室の空調停止
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

お部屋置きするアメニティ類の一部にバイオマスを含む製品を導入し、包材も含めて約30％のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	御宿野乃　浅草別邸
事業所番号	A 1 0 4 1 － 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 1 1 － 0 0 3 2　区市町村名　東京都台東区 町名番地以下　浅草2丁目7-26
事業所等の延床面積	5,344.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　□ 1年度分　■ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	2024年1月グランドオープン。

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2023年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 78	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 152	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 155	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 28.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	22,468.9	45.00	1,011.1	0.0136	50.4
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	209,524.0	9.76	2,045.0	0.4890	102.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,056.1		⑮ 152.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,195.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	6,574.0			0.4000	2.6
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度		%
	CO_2排出量（延床面積当た		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

お部屋置きするアメニティ類の一部にバイオマスを含む製品を導入し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。